

点検評価表（外郭団体）

I 団体の概要

（令和3年4月1日現在）

団 体 名	公益財団法人静岡県腎臓バンク		
所 在 地	浜松市東区半田山一丁目20番1号	設立年月日	昭和61年5月21日
代 表 者	理事長 太田 信隆	県 所 管 課	健康福祉部医療局疾病対策課
設立に係る根拠法令等	・一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 ・公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律 ・昭和54年12月18日施行の「角膜及び腎臓の移植に関する法律（法律第63号）」を根拠として設立。平成9年7月16日の臓器の移植に関する法律（法律第104号）の成立をもって旧法は廃止となったため、現在は臓器の移植に関する法律を根拠とする。		
団体の沿革	・昭和61年5月1日に静岡県から財団法人の設立許可を取得。厚生省から腎臓移植あっせんの許可を受け、全国で7番目の腎臓バンクとして事業を開始。 ・平成9年施行の臓器の移植に関する法律（脳死体からの多臓器移植）により、日本臓器移植ネットワークに臓器のあっせんが一元化されたことに伴い、腎臓移植のあっせん事業からは撤退。（事業活動は、静岡県からの委託事業、自主事業も含め県内の臓器移植普及啓発活動を実施している。） ・平成22年5月静岡県第一号の公益法人として認可を取得する。		
運営する施設	-		
団体ホームページ	http://www.shizu-jinbank.or.jp		

出資者	出資額(千円)	比率(%)
静岡県	150,000	49.0%
市町・静岡県市長会等	75,100	24.5%
ライオンズクラブ	20,350	6.6%
その他	60,812	19.9%
基本財産(資本金) 計	306,262	100.0%

役職員の状況(人)			
常勤役員	0	常勤職員	2
うち県OB	0	うち県OB	0
うち県派遣	0	うち県派遣	0
非常勤役員	29	非常勤職員	0
役員 計	29	職員 計	2

II 点検評価（団体の必要性）

1 団体の設立目的（定款）

腎臓移植術による腎臓機能障害者に対する腎臓機能の付与に資するため、腎臓移植の普及促進事業及び腎臓移植と腎臓病に関する知識の普及啓発事業等を行い、もって県民の福祉の向上と健康で活力ある社会の実現に寄与する。

2 団体が果たすべき使命・役割

<腎臓移植の普及促進に関する事業>
 ・腎臓移植をはじめとした臓器の移植・臓器提供に関する医療機関の基盤整備を行い、臓器提供・移植発生時のコーディネート業務を行う。
 <臓器移植と腎臓病の知識普及に関する事業>
 ・臓器移植や腎臓病に関する知識の普及のための啓発イベントや勉強会、市民公開講座の実施。
 ・臓器提供意思表示カードの配布と臓器提供意思表示促進の活動。

3 団体を取り巻く環境

区分	内容
団体を取り巻く社会 経済環境の変化や 新たな県民ニーズ	財団の活動資金は、基本財産運用益、寄付、賛助会費、(公社)日本臓器移植ネットワークの助成金による。資金の運用については、理事長・執行理事・監事及び会計事務所と情報共有の上、規程に則り公益法人会計として適正な運用を行っている。令和2年度は、コロナ禍による自粛のため、事業運用が困難と思われたが、県内の臓器提供数は、令和元年度の7件から令和2年度は6件と、ほぼ前年並の提供数で、かつ全国一の提供数となった。全国では、令和元年の125件から令和2年は77件と、前年比38.4%減と大幅に減少した。このことから、静岡県はコロナ禍であっても、臓器提供に理解を示す県民や医療機関の協力を得られており、臓器提供や臓器移植が県民にとって必要な医療活動であると言える。今後も、臓器提供の知識向上のための普及啓発活動の推進を行う。
行政施策と団体活動 との関係(役割分担)	静岡県第8次保健医療計画(2018～2023年度)の臓器移植対策の数値目標は、臓器移植推進協力病院数を29施設から31施設へ拡充し、院内移植コーディネーター(以後Co)設置数は61人(2017年実績)から65人に増員し、提供時体制整備や移植医療の理解促進を進める計画である。令和2年度の推進協力病院数は変更ないが、院内移植Coは71人と、目標値を達成している。行政からの委託事業により、相互協力関係を保った事業を展開し、また、コロナ禍でも医療機関の普及活動の基礎となる院内移植Coの育成の研修会等を継続開催した。しかしながら、透析患者と家族向けの市民公開講座は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止せざるを得なかった。
民間企業や他の団体 との関係(役割分担)	①(公社)日本臓器移植ネットワークの都道府県支援事業への申請を行い、県内医療機関の体制整備と臓器移植推進月間の広報活動を実施(10月の臓器移植普及推進月間に掛川城天守閣のグリーンライトアップを実施)した。 ②コロナ禍により街頭活動を中止せざるを得なかったため、ライオンズクラブ例会時に広報リーフレット、普及啓発グッズの配布を実施した。 ③NPO法人移植者協議会から移植者が描いた絵(コピー)の貸与を受け、医療機関の巡回展示を実施、各地域での啓発活動を行った。

4 事業概要

(単位:千円)

区分	事業名	事業概要	R2決算	R3予算
県委託	静岡県臓器移植 連絡調整者設置 事業	①医療機関の臓器移植に関する基盤整備のための巡回活動と日本臓器移植ネットワークとの情報交換 ②臓器提供発生時、日本臓器移植ネットワークと連携のもと臓器のあっせんを行う	5,000	11,343
県委託	臓器移植普及啓 発事業	①院内移植コーディネーターを対象とした研修会の開催 ②臓器提供施設の医師などを対象とした研修会の開催 ③オリジナル意思表示カード・リーフレットの作成 ④移植普及月間を中心とした普及啓発キャンペーンの実施 ⑤推進協力病院への巡回指導の実施	1,461	1,845
自主事 業	移植推進事業	①腎移植担当医懇談会の開催(Web開催) ②移植医療推進のための講演会開催 ③腎臓バンクだよりの発行 ほか	7,694	8,400
自主事 業	募金活動事業	活動費獲得のため、寄付金、賛助会費、黄色い羽根募金の募集活動の実施	1,055	1,010
その他	日本臓器移植ネッ トワーク地域支援 事業	日本臓器移植ネットワークが行う都道府県支援事業の実施	957	1,500
合 計			16,167	24,098

5 事業成果指標

指標の名称(単位)	目標(上段)及び実績(下段)			評価	目標値 (年度)
	H30	R1	R2		
病院巡回回数 (回)	84	84	84	A	84 (R3)
	123	131	84		
研修会実施回数 (回)	15	15	15	A	15 (R3)
	15	14	20		
献腎提供数 (件)	5	7	7	B	7 (R3)
	7	7	6		
募金金額 (千円)	7,550	7,450	6,450	A	6,490 (R3)
	7,479	6,314	8,049		

※評価 … A:目標達成 B:目標未達成 C:目標未達成(乖離大)

6 事業成果の総括評価

団体の自己評価		県所管課による評価	
判定	評価	判定	評価
○	コロナ禍により事業実施について見直しを行う必要があった。研修会等は三密を避け、感染対策の上で、前年月1回の会議を地域に分け同じ内容で3か所に分けて開催。またWeb開催への切り替え、腎バンクHP内に会員限定ページなど作成し、事業展開するなど、実施方法を変更しながら、予定事業はほぼ実施することができた。収益面では、単発の大口寄付金があり、また黄色い羽根募金も目標額に達し、募金に関わる経費も見直しにより減額できた。	○	コロナ禍においても、事業の実施方法の変更によって、予定事業を実施することができた。 受取寄付金は大口寄付があり、黄色い羽根募金収益も目標額に到達した。 当該法人は収益事業を行っておらず、寄付金や募金は善意によるものであるため、短期間で収益をあげることは難しいと思われるが、今後も長期的に安定した歳入確保に努めてもらうこととする。

※判定欄 … ○:良好 △:改善を要する ×:抜本的な改革が必要

7 団体の必要性の評価

団体の自己評価		県所管課による評価	
判定	評価	判定	評価
○	静岡県の腎移植希望登録者数は、令和元年から令和2年にかけて、363人から376人と、前年度より増加しており、現在、腎移植の待機年数は、15年以上と長期間に渡っている。腎移植は、小児を除き、県内で提供があれば、県内の待機患者には待機ポイントが優遇されるため、県内からの提供が増加することで、県内の待機患者への腎移植が可能となる。また、提供者側の権利として、臓器移植法に本人の提供の意思は尊重されることとあり、提供者の意思を叶えるために、医療機関の体制整備や県民への地道な普及啓発活動など、団体が行うべき役割は重要であり、必要不可欠な活動である。	○	当該法人は、(公社)日本臓器移植ネットワークによる研修等を受講した上で委嘱されている県臓器移植コーディネーターを有している県内唯一の団体である。長年、腎臓を含む臓器移植の理解を深める普及啓発活動により、臓器移植の成果を挙げており、当該法人が県内の臓器移植の普及啓発に果たす役割は非常に大きいものである。また、24時間体制で臓器移植提供事例発生に備えるとともに、臓器提供の対応に必要なJOTとの密な連携体制が構築されており、県の臓器移植推進施策を効果的かつ効率的に推進するためには、当該法人は、必要不可欠である。

※判定欄 … ○:良好 △:改善を要する ×:抜本的な改革が必要

8 団体改革の進捗状況(過去の行政経営推進委員会からの意見への対応状況)

行政経営推進委員会意見 (経営健全性に係るもの以外)	対応状況	
	団体記載	県所管課記載
<ul style="list-style-type: none"> ・財団のPR活動を現在の実施方法に捉われずに行う ・意思表示カードによる理解者増加(平成24年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍により、人が密集するイベントが中止となったため、街頭活動は制限されたが、地域と密着しているライオンズクラブ、県腎友会と協働し、会員に対し理解を深める活動を行った。 ・医療施設内で意思表示カードの設置や説明ブース設置 ・成人式での新成人へのカード配布 ・中高生への勉強会での意思表示の仕方についての説明 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当該法人は、意思表示カード等による臓器移植に関する理解者の増加に向け、様々な啓発方法によりPR活動を展開し、普及啓発に努めている。

※○:対応済 △:対応中 ×:未対応

Ⅲ 点検評価（経営の健全性）

1 財務状況

（単位：千円）

区分	H30 決算	R1 決算	R2 決算	評価	備考(特別な要因等)	
健全性指標	単年度収支 (d-h)	-1,024	-2,106	882	A	
	経常損益 (a+b-e-f)	-1,024	-2,106	882	A	
	公益目的事業会計	-1,024	-2,106	882		
	収益事業等会計	0	0	0		
	法人会計	0	0	0		
	剰余金	7,686	5,580	5,956	A	

※評価 … A:プラス B:特別な要因によるマイナス C:マイナス

区分	H30 決算	R1 決算	R2 決算	主な増減理由等	R3 予算	
資産の状況	資産	329,513	327,500	328,235		326,927
	流動資産	8,197	6,238	6,466		6,532
	固定資産	321,316	321,262	321,769		320,395
	負債	3,366	3,512	3,365		3,790
	流動負債	1,316	1,462	1,315		1,740
	固定負債	2,050	2,050	2,050		2,050
	正味財産/純資産	326,147	323,988	324,870		323,136
	基本財産/資本金	306,135	306,262	306,390		306,517
	剰余金等	7,686	5,580	5,956		5,617
	運用財産	12,326	12,146	12,524		11,002
収支の状況	事業収益 (a)	8,742	8,733	8,370	感染症拡大防止のため、会議等中止による助成金申請減額	15,428
	うち県支出額	6,461	6,461	6,461		13,188
	(県支出額/事業収益)	(73.9%)	(74.0%)	(77.2%)		(85.5%)
	事業外収益 (b)	11,703	10,624	12,396	単年度大口寄附による	10,856
	うち基本財産運用益	4,055	4,055	4,182		4,182
	特別収益 (c)	0	0	0		0
	うち基本金取崩額	0	0	0		0
	収入計 (d=a+b+c)	20,445	19,357	20,766		26,284
	事業費用 (e)	16,608	16,775	16,167	職員一名退職による人件費減、感染症拡大防止のため会議等の中止延期による関連費減	24,098
	うち人件費	9,884	9,749	9,465		14,057
	(人件費/事業費用)	(59.5%)	(58.1%)	(58.5%)		(58.3%)
	事業外費用 (f)	4,861	4,688	3,717	職員一名退職による人件費減	3,990
	特別損失 (g)	0	0	0		0
支出計 (h=e+f+g)	21,469	21,463	19,884		28,088	
収支差 (d-h)	-1024	-2106	882		-1804	

2 経営改善の取組の実施状況と評価

令和元年度から、黄色い羽根募金の経費見直しを行い、郵送料を抑える目的と設置による募金のみならず、広報物としての機能を持たせる目的で募金箱デザインを一新。また、送付先の名簿の見直しや、法人役員の推薦団体の協力を求めたことにより、収益率が上がった。
 また、経理業務の一部を会計事務所へ委託し、公益法人に求められる収支相償に基づいた事業活動や法人運営を適切に実施することができた。
 コロナ禍でも事業を停滞させることなく、事業を進めることができた。また、パート職員の退職に伴う業務負担については、令和3年度に静岡県臓器移植Coの増員を予定しており、教育活動に合わせ法人業務のスリム化など考慮していく必要がある。

3 赤字の要因（前年度の単年度収支、経常損益が赤字の団体のみ記載）

--

4 経営の健全性の総括評価

団体の自己評価		県所管課による評価	
判定	評価	判定	評価
○	<p>基本財産の運用と県委託費、賛助会費・寄付・募金収入及び(公社)日本臓器移植ネットワークの助成金の申請により、事業資金として活用。</p> <p>令和2年度は、単発の大口寄付金があり、また、黄色い羽根募金は、予算見込みより収入増となった。さらに、寄附型自動販売機を医療機関に新規で1台設置した。</p> <p>腎バンクだよりへの広告募集や賛助会員の増員募集などを実施し、安定的に事業資金を確保するよう努めている。</p>	○	<p>当該法人は収益事業を行っていないため、基本財産運用益と委託費、賛助会費・寄付金等が主要な財源となっている。賛助会費や寄付金は、善意によるものであるため、安定的に収入確保をすることは難しいが、当該法人も地道に営業活動を行い、財源確保に努めている。</p>

※判定欄 … ○:良好 △:改善を要する ×:抜本的な改革が必要

5 団体改革の進捗状況（過去の行政経営推進委員会からの意見への対応状況）

行政経営推進委員会意見 (経営健全性に係るもの)	対応状況	
	団体記載	県所管課記載
・寄付金収入の増加(24年度)	○ <p>令和2年度は、大口の単年度寄付金が3件あり、また、医療機関にて、新規で寄附型自動販売機を1台設置した。</p> <p>加えて、黄色い羽根募金の募金箱配布名簿の見直しを実施したほか、新規会員獲得のための営業活動を行い、賛助会員は法人1件、個人1件の増となった。</p> <p>その他、広報誌の広告を1社増とするなど、日々、収入確保に努めている。</p>	○ <p>令和2年度の賛助会費実績は、前年度実績を上回ることができた。法人としても、継続的に賛助会員の増員増額の活動を行い、理事等にも新規会員獲得の営業活動を促している。</p> <p>黄色い羽根募金活動においては、募金箱配布名簿の見直しを行い、効果的な募金活動を行っている。</p> <p>さらに、寄附型自動販売機を1台増設し、広報誌の広告を1社増にするなど、安定的な収入確保に努めている。</p>

※○:対応済 △:対応中 ×:未対応

IV 改善に向けた今後の方針

1 点検評価を踏まえた経営の方向性

今後の展望、中期的な経営方針(団体記載)	団体の方針に対する意見等(県所管課記載)
<p>当財団は、県内唯一の臓器移植普及啓発団体として、臓器提供時の対応を行う静岡県臓器移植コーディネーターが設置されており、県内医療機関の体制整備支援を実施している。昨年度のコロナ禍では、医療機関の逼迫と感染対策が優先事項となり、全国的にも臓器提供数が38.4%減少したものの、静岡県では、令和元年度が7件、令和2年度が6件と微減で、全国で最も多い提供数であり、腎不全の移植希望者7名に腎移植を実施することができた。コロナ禍であっても、院内移植Co連絡会や臓器提供移植対策協議会を通じ、医療機関の院内体制整備を進めることは、医療機関の責務が着実に浸透されることに繋がるものである。そのためには、事業展開を行う安定的財源の確保が重要であることから、今年度も賛助会員の増員や募金、自動販売機の設置増の活動を実施していく。</p>	<p>当該法人は、県内の臓器移植推進協力病院と連携しながら腎臓をはじめとした臓器移植に関する医療提供体制の構築を着実に進めており、腎臓移植の普及促進や、移植に携わる医療従事者を対象とした移植関係者会議や研修会を開催し、専門的知識の情報交換や症例検討等を行い、スキルアップを図っている。</p> <p>令和2年度は、コロナ禍で、全国的に臓器提供件数が前年度を大幅に下回る結果となったが、当県は、当該法人の着実な活動実績が実り、コロナ禍においても臓器提供件数は前年度を1件下回ったものの、ほぼ例年通りの件数となり、また、全国で最も多い提供数となった。</p> <p>今後も、同様の事業活動を継続し、効果的な臓器移植に関する理解促進への取組みを進めていくこととするが、そのためには、安定的な資金確保が不可欠であり、その限られた財源の中で収支相償の原則に従った事業執行をし、中長期に渡り健全経営を行っていく必要があると思われる。</p>

2 今年度の改善の取組

団体の取組(団体記載)	団体の取組に対する意見等(県所管課記載)
<p>収入確保にあつては、従来の活動(寄附募集、賛助会員募集、募金活動、寄附型自販機拡充、助成金の申請)を継続していく。今年度、3年間の期限付きで静岡県臓器移植コーディネーターの増員が可能となったため、4月より1名新規採用となった。今年度は新人育成を図り、臓器移植ネットワークの委嘱状の発行を待ち、県内事例に対応可能となるよう教育を進めていく。</p> <p>事業執行にあつては、昨年度実施したコロナ対策をもとに、事業展開を継続し、さらにWebでの環境整備を行い、第5波以降の感染蔓延の状況でも事業中止とならないよう準備を進めていく。一方で、市民向けの普及啓発イベントは、大規模イベントなどの県の指針を参考に、可能な限り開催の可能性を探ることとする。また、今年度35周年記念事業としてポスターコンクールの準備を進めていく。昨年度、コロナ禍により事業執行ができないこともあり、逐次事業の見直し、補正予算の検討などを行った。今後も、収支相償による計画の変更など、臨機応変な対応を行っていく。</p>	<p>収入の確保については、当該法人は、収益事業を行っていないため、コロナ禍で景気が低迷している中、非常に厳しいものと思われるが、法人としても営業活動を行い賛助会員の増員増額に取組んでいるほか、(公社)日本臓器移植ネットワークの助成金を活用するなど、安定的な財源確保に努めている。</p> <p>また、臓器移植コーディネーターの育成に関しては、現臓器移植コーディネーターの3年後の退職を見据え、今年度から後任となるべく新人教育を始めたところであるので、3年後に一人立ちができるよう、しっかりとした新人育成を期待する。</p> <p>さらに、事業執行に当たっては、今年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、基本的には、昨年度の事業実施方法を踏まえた同様の事業展開となることが想定されることから、歳入確保が伴わない場合、収支相償の原則に従い、事業見直しや事業縮小を行うことで、歳出超過となることのないよう健全経営を行っていく必要がある。</p>

V 組織体制及び県の関与

1 役職員数及び県支出額等

(単位:人、千円)

区分	H30	R1	R2	R3	備考(増減理由等)
常勤役員数	0	0	0	0	役員29名は全て非常勤で、無報酬である。
うち県OB	0	0	0	0	
うち県派遣	0	0	0	0	
常勤職員数	2	2	2	2	
うち県OB	0	0	0	0	
うち県派遣	0	0	0	0	
県支出額	6,461	6,461	6,461	13,188	
補助金	0	0	0	0	
委託金	6,461	6,461	6,461	13,188	
その他	0	0	0	0	
県からの借入金	0	0	0	0	
県損失補償等	0	0	0	0	

※役職員数は各年度4月1日時点、県支出額は決算額(当該年度は予算額)、借入金・損失補償等は期末残高

2 点検評価(団体記載)

項目	評価	評価理由
定員管理の方針等を策定し、組織体制の効率化に計画的に取り組んでいるか	○	評議員9名、理事18名(代表理事3名)、監事2名で定款上の基準を満たしている。職員については、令和3年4月に常勤職員1名が入職し、常勤職員3名で業務運営を行っている。令和元年から経理業務の一部を会計事務所へ委託し、法人管理業務の見直しを図っている。
常勤の役員に占める県職員を必要最小限にとどめているか	-	常勤の役員に、県職員はいない。
常勤の職員に占める県からの派遣職員を必要最小限にとどめているか	-	常勤の職員に、県からの派遣職員はいない。

※ 評価欄 … ○:基準を満たしている △:基準を満たしていないが合理的理由がある ×:基準を満たしていない

3 点検評価(県所管課記載)

項目	評価	評価理由
県からの派遣職員について、必要性、有効性が認められるか	-	県からの常勤職員としての派遣職員はいない。
県からの補助金等の支出や借入金等について、必要性、有効性が認められるか	○	県からの委託費は、臓器移植コーディネーターの設置及び臓器移植普及啓発事業を実施するための費用であり、必要な経費である。

※ 評価欄 … ○:基準を満たしている △:基準を満たしていないが合理的理由がある ×:基準を満たしていない

VI 更なる効果的事業の実施に向けた取組

1 外部意見把握の手法及び意見

区分	実施	結果公表	実施内容	主な意見・評価
外部評価委員会	-	-		
利用者アンケート	○	-	<p>①学校教育での講演会 ・御殿場市立高根中学校 実施日:令和2年6月24日 ・静岡県立浜松北高校(定時制) 実施日:令和2年7月17日</p> <p>②院内移植Co連絡会 時期:令和2年11月 内容:コロナ禍での院内移植Co 連絡会の事業について</p>	<p>①命の授業を実施したことで、「臓器移植についての考え」や「自己決定権について」及び「家族との関わり」等について、理解を深めることができた。</p> <p>②例年1箇所で開催していた連絡会を県内3箇所で開催したことにより、コロナ罹患リスクを回避する中で、必要な情報を得ることができたとの回答が多かった。その反面、年数回であれば、全体会の開催も必要であるとの意見も一部であった。また、腎臓バンクのホームページを活用し院内Co限定ページを作成したことについては、評価が高かった。</p>
利用者等意見交換会	-	-		
その他 ()	-	-		

○:実施している/公表している -:実施していない/公表していない

2 事業やサービスの見直し例

<p>院内移植Coに対するアンケート調査から、腎臓バンクホームページ内に会員特設ブログを作成した。 会員からの意見を受け、欠席者に対し、次回開催案内や議事録をダウンロードにより取得できるようにした。 将来的には、配布物について、データによる提供へ切り替えていくこととする。</p>
--